



日本学校心理士会 2017 年度大会のご案内

大会テーマ

『チーム学校を活かす学校心理士』

期日：2017年8月19日（土）・20日（日）

会場：西宮市民会館（兵庫県西宮市六湛寺町10-11）

西宮市立勤労会館（兵庫県西宮市松原町2-37）

主催：日本学校心理士会

主幹：日本学校心理士会兵庫支部

後援（一部申請中）：文部科学省，全国連合小学校長会，全日本中学校長会，全国特別支援学校長会，全国高等学校長協会，全国国公立幼稚園・子ども園長会，公益社団法人日本教育会，一般社団法人学校心理士認定運営機構，一般社団法人日本教育心理学会，一般社団法人日本特殊教育学会，日本発達障害学会，一般社団法人日本発達心理学会，一般社団法人日本LD学会，日本学校心理学会，日本応用教育心理学会，日本生徒指導学会，日本学校カウンセリング学会，日本コミュニケーション障害学会，日本学校メンタルヘルス学会，日本学校教育相談学会，兵庫県教育委員会，神戸市教育委員会，西宮市教育委員会 他

2017 年度大会へのご参加を心よりお待ちしております

「日本学校心理士会 2017 年度大会」は，兵庫県西宮市民会館にて，8月19日（土），20日（日）の2日間にわたって開催いたします。

本大会のテーマは「チーム学校を活かす学校心理士」です。チーム学校が学校現場で活かされ根付くためには何が求められているのか，そのための学校心理士の役割と可能性について考えます。外部の専門家らを学校に入れての「チーム」が，現場で実際に機能するためには，多くの人的資源やその連携・協同が必要です。学校心理士は現場の教員やコーディネーターとして，スクールカウンセラーや特別支援教育の支援員等として多様に活動しており，チーム学校の中で果たす役割が大いに期待されます。

こうした中，公認心理師法はすでに公布され，平成29年9月までに施行されます。公認心理師の活動が間もなく始まる今だからこそ，これからの学校心理士の立場と役割，実践の方法，あり方そのものを，原点に立ち返り考える大会としたいと思います。

また，学校心理士会研修委員会の協力のもと開催時点での最新情報を取り入れた企画シンポジウム「学校心理士と公認心理師」を開催いたします。テーマ「チーム学校」では，学校現場でのチーム学校を活かすための，他職種との連携や協同の一つとしての学校精神保健コンサルテーションなどをとりあげ，大会シンポジウムを予定しています。また，特別支援教育における学校心理士のアセスメントや実態把握そして早期からの適切な支援についての研修や，発達障害についての最新の医学情報をふまえた研修等を予定しています。基調講演では「発達症の児童生徒支援と校内・校外連携」について，研修会では，学校心理士の資質と実践力の向上をめざして，より専門性を磨くための，教育，医療，法律，各領域から第一人者として活躍している講師の先生方をお招きします。

開催地西宮市では，開催期間中に甲子園球場での高校野球が開催されております。この機に甲子園球場にも足をお運びいただき，ライブをお楽しみください。また阪神大震災から20余年を経て復興した西宮市は，民間調査において関西圏での住みたい街，No.1とNo.2を得ている街でもあります。この機会に復興した西宮や神戸の街並みなども観ていただけましたら幸いです。さらに，第一日目の情報交換会（懇親会）では，「神戸六甲山」の100万ドルの夜景を美味しい食事をしながらお楽しみいただけます。

皆様に満足していただけますよう引き続き準備をすすめて参りますので，多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日本学校心理士 2017 年度大会大会準備委員会
委員長 橋本 秀美（大阪樟蔭女子大学）

8月19日(土) 1日目	
午 前	
9:00	開場
9:30	開演 開会行事 (開会挨拶, 名誉学校心理士推戴式)
10:00~10:30	※基調講演1: 塩見 邦雄 (学校心理士認定運営機構理事長 / 大和大学) <テーマ> 「学校心理士の過去・現在・未来」
10:30~11:45	※基調講演2: 十一元三 (京都大学医学部教授 / 児童精神科医) <テーマ> 「発達症の児童生徒支援と校内・校外連携」
11:45~12:15	※文部科学省の講師による講演: 田中 裕一 (文部科学省初等中等教育局)
<※を全て受講で, A:1 ポイント>	
12:15~12:40	会長報告: 石隈 利紀 (日本学校心理士会会長 / 東京成徳大学) <テーマ> 「公認心理師の誕生と学校心理士のこれから」
午 後	
A 13:50~15:50	大会シンポジウム①<A:1 ポイント> <テ ー マ> チーム学校と学校コンサルテーション ー特別支援教育への取り組みを中心に: すべての子どもと教師にむけてー <司 会> 野澤 章子 (元西宮市教育委員会・小学校長) <話題提供者> 白瀧 貞昭 (神戸博愛病院児童精神科・発達障害研究所長) 野澤 章子 (元西宮市教育委員会・小学校長) 森下伊一郎 (兵庫県立芦屋特別支援学校) 山本 宏江 (西宮市立中学校特別支援学級担当・コーディネーター) 金井 温宏 (西宮市教育委員会 学校教育部特別支援教育課) <指定討論者> 芳川 玲子 (東海大学)
	研修講座①~④<A:1 ポイント> ①八並 光俊 (東京理科大学) 「チーム学校と組織的な教育相談体制」 ②瀧野 揚三 (大阪教育大学) 「学校の危機管理」 ③喜多 徹人 (神戸セミナー) 「不登校に有効なブリーフサイコセラピー」 ④山谷敬三郎 (北翔大学) 「子どもを伸ばすコーチング教育相談・生徒指導への応用」
B 16:00~18:00	大会シンポジウム②<A:1 ポイント> <テ ー マ> 被災地支援ー学校心理士にできることー <企 画> 橋本 秀美 (大阪樟蔭女子大学) 高橋 知己 (上越教育大学) <司 会> 大野 精一 (学校心理士認定運営機構事務局長 / 星槎大学) <話題提供者> 諏訪 清二 (兵庫県立松陽高校) 和井田節子 (共栄大学) 鈴木 庸裕 (福島大学) 橋本 秀美 (大阪樟蔭女子大学) 緒方 宏明 (尚綱大学短期大学) <指定討論者> 高橋 知己 (上越教育大学)
	研修講座⑤~⑦<A:1 ポイント> ⑤豊永 公司 (大阪市民病院機構総括産業医・大阪市立総合医療センター前児童青年精神科部長) 「発達障がいの子どもの診断と治療・関わり ー児童精神科臨床の現場から, 学校・相談機関との連携を含めてー」 ⑥加藤 美朗 (関西福祉科学大学) 「通常の学級における発達障害支援ー障害特性および認知面行動面の理解からー」 ⑦蘭 香代子 (駒沢女子大学) 「描画表現と子どもー育ちなおしの童話療法ー」
	SV研修①(領域Ⅲ: その他) 講 師: 岡 直樹 (学校心理士資格認定委員長 / 広島大学) テ ー マ: 個別学習支援の理論と実践
14:00~16:00	「学校心理士資格」連絡協議会 (関係者のみ)
19:30~21:30	情報交換会 (懇親会) 六甲山ホテル

8月20日(日) 2日目	
午 前	
9:30~11:30	研修委員会企画シンポジウム<A:1 ポイント> <テ ー マ> 学校心理士と公認心理師 <企 画> 山谷敬三郎 (北翔大学) 藤井 義久 (岩手大学) 緒方 宏明 (尚絅大学短期大学) 茅野 理恵 (信州大学) <司 会> 岡田 守弘 (日本学校心理士会副会長 / 東京医療学院大学) <話題提供者> 石隈 利紀 (日本学校心理士会会長 / 東京成徳大学) 大野 精一 (学校心理士認定運営機構事務局長 / 星槎大学) 岡 直樹 (学校心理士資格認定委員長 / 広島大学) <指定討論者> 塩見 邦雄 (学校心理士認定運営機構理事長 / 大和大学)
11:45~12:20	日本学校心理士会幹事情報交換会 (幹事のみ)
午 後	
12:30~13:20	総会
C 13:30~15:30	大会シンポジウム③<A:1 ポイント> <テ ー マ> 地域支援と生涯支援活動する学校心理士 <企 画> 蘭 千壽 (東京女学館大学) 橋本 秀美 (大阪樟蔭女子大学) <司 会> 蘭 千壽 (東京女学館大学) <話題提供者> 石井 幸江 (千葉県スクールカウンセラー) 小澤美代子 (さくら教育研究所) 片桐 力 (千葉県教育庁葛南教育事務所) <指定討論者> 大関 健道 (流山市立向小金小学校)
	研修講座⑧~⑩<A:1 ポイント> ⑧湯澤 美紀 (ノートルダム清心女子大学) 「ワーキングメモリと学習支援」 ⑨三島 浩路 (中部大学) 「『いじめ』『ネットいじめ』の背景と対応—児童生徒の個人特性や仲間集団の特徴から—」 ⑩飯田 順子 (筑波大学) 「心理アセスメント: WISC-IVとKABC-IIの理論と活用」
	SV研修② (領域I: 倫理と法) 講 師: 佐藤 泰子 (京都大学) テーマ: 苦しみと緩和の臨床人間学—聴くこと, 語ることの本当の意味と倫理—
15:40~17:40	公開講座 (オープン) <テーマ> ちょっと気になる子の子育てと教育—親や教師や支援者として— 竹田 契一 (大阪教育大学名誉教授・大阪医科大学 LD センター顧問) 笹森 理絵 (神戸市発達障害ピアカウンセラー / 精神保健福祉士) ポスター発表<筆頭発表者 F: 3ポイント 連名発表者 H: 1ポイント>

注) 所属・役職名は2017年3月20日現在のものので変更の可能性あり。

2. 資格更新ポイントについて

- ・大会への参加（2日間でも1日でも）によってI（1ポイント）が付与されます。ただし、F, G, Hポイントを取得した場合、Iポイントは認められません。
- ・F, G, H, Iポイントのうち、認められるのはどれか1つのみとなります。
- ・「基調講演」は、「基調講演1」「基調講演2」「文部科学省の講師による講演」すべて参加でA（1ポイント）です。
- ・「ポスター発表」は、筆頭発表者がF（3ポイント）、連名発表者がH（1ポイント）です。ただし、連名発表者として複数の発表に参加してもHは1ポイントのみです。なお、「ポスター発表」に視聴者として参加していただくことへのポイントの付与はありません。
- ・「大会シンポジウム」への参加は、①②③各A（1ポイント）です。
- ・研修①～⑩への参加は、各A（1ポイント）です。
- ・学校心理士スーパーバイザーの資格更新には、「Aを1ポイント以上含む計10ポイント」に加え、「スーパーバイザー（SV）研修」への参加が必要です。SV研修は、I「倫理と法」、II「コンサルテーションあるいはスーパービジョンの方法」、III「その他」について開催いたします。I、IIおよびIIIにつき最低各1コマの受講が必須となります。今回はI「倫理と法」とIII「その他」を開催いたします。

3. 事前参加申込について

大会ホームページ (<http://heibun.co.jp/gakkoushinrishi2017/>) にアクセスしていただき、『事前参加申込』より、**2017年5月30日（火）24:00**までに必要事項を入力してください。入力完了後、登録されたE-mailアドレスに確認メールが配信されます。ご登録いただいた後、諸費用を払い込みください（払込み方法は、「4. 諸費用払込み方法」をご覧ください）。なお、インターネットでの参加申込および原稿投稿ができない方は、**2017年5月19日（金）17:00**までに大会事務局（7頁掲載）までご連絡ください。FAX用の参加申込書をお送りします。送付方法は原稿作成要領をご確認ください。

(1) 大会シンポジウムの申し込み

大会シンポジウムに参加を希望される方は、事前参加申込時に、希望のテーマをお選びください。

(2) ポスター発表の申し込みおよび論文投稿の手続き

ポスター発表を希望される方は、**2017年5月30日（火）24:00**までに大会ホームページからの参加申込と併せ、『論文投稿』から、発表内容の登録と原稿のアップロードを行なってください。

ポスター発表用の論文のフォーマット（Microsoft Word版）は、大会ホームページからダウンロードできますのでご利用ください。

(3) 研修講座、SV研修の申し込み

研修講座は、8月19日（土）A:13:50～15:50、B:16:00～18:00、8月20日（日）C:13:30～15:30で合計10コマを予定しています。申し込みの際は、大会ホームページ上の『事前参加登録』より、希望する研修講座をお選びください。定員がありますので先着順となります。定員を超えた場合は、第2、第3希望にもなることがありますので予めご承知おきください。

スーパーバイザーを対象としたSV研修は、8月19日（土）B:16:00～18:00、8月20日（日）C:13:30～15:30に行ないます。会場設定の関係から、事前の申込みをお願いいたします。申し込みの際は、大会ホームページ上の『事前参加登録』から参加申込をお願いいたします。（インターネットが不可の方のみFAXでも受け付けておりますが、インターネットとFAXでの重複申込みをされないよう、十分ご注意ください）

4. 諸費用払込み方法

諸費用の払い込みは、クレジットカード決済と銀行振込をご用意しています。

クレジットカード決済の場合

大会ホームページから事前参加申込の際、「参加費お支払い方法」で「クレジットカード」にチェックを入れてください。後日クレジットカード決済用のURLが記載されたメールが届きますので、**2017年6月10日（土）**までに決済手続きを完了してください。お支払い確認後、「事前参加申込確認書」をメールにて送付いたしますので、出力していただき、大会当日の受付にご提示ください。引き換えに名札・領収書・受講証明書・カードホルダーをお渡しいたします。

銀行振込の場合

2017年6月10日(土)までに下記の口座へ諸費用を払い込んでください(振込用紙は銀行備え付けの用紙をご利用ください。専用振込用紙は同封しておりません)。入金確認後、「事前参加申込確認書」をメールにて送付いたしますので、出力していただき、大会当日の受付にてご提示ください。引き換えに名札・領収書・受講証明書・カードホルダーをお渡しいたします。

【注意事項】 払込みの控えは大会当日まで必ず大切に保管してください。払込みの証拠として提示していただくことがあります。なお、払い込まれた諸費用は、原則として返却することができませんので、あらかじめご了承ください。

【お振り込み先】

金融機関名 三菱東京UFJ銀行 しほくがわ 夙川支店 (店番 481)
口座 普通預金 0187187
口座名 日本学校心理士会 2017年度大会準備委員会 委員長 橋本秀美
(ニホガ ヲコウシニシカイニセジ ユウナネト ジュンビ インカイインチョウハシトビミ)

○諸費用一覧

ポスター発表者(筆頭・連名)は、参加費の納入が必要です。なお、非会員の方で連名発表者になる場合、不参加の場合は連名発表費 3,000 円の納入が必要です。筆頭発表者が責任をもって登録漏れがないか確認してください。

【日本学校心理士会会員】

種別	金額	備考
参加費	事前：8,000円 当日：9,000円	発表論文集 1冊含む
情報交換会(懇親会)	事前：6,500円 当日：7,000円	

【非会員】 *学校心理士以外の方も参加できます。*詳細は大会ホームページをご覧ください。

種別	金額	備考
参加費	事前：9,000円 当日：10,000円	発表論文集 1冊含む
ポスター発表 連名発表費 (大会不参加の場合)	3,000円	発表論文集は含みません。 筆頭発表者による事前払込みをしてください。
情報交換会(懇親会)	事前：6,500円 当日：7,000円	

5. ポスター発表要項

(※発表者への案内となります)

(1) 発表の方法

発表内容をポスター形式で掲示し、それをもとに発表者と視聴者の間で討論をしていただきます。

(2) 発表の要件

「発表論文集への論文掲載」「ポスターの展示発表」「討議への参加」という3条件をすべて満たすことによって公式発表として認められます。

(3) 発表資格

筆頭発表者は、入金〆切日(2017年6月10日(土))の時点で、日本学校心理士会の正会員でなければなりません(2016年度学校心理士・学校心理士(補)の資格試験に合格し、会費を支払った方も含みます)。また筆頭発表者は、発表申込、予約参加費、発表論文集原稿に関わるすべての手続きを、所定の期日までに行っていなければなりません。

連名発表者も、大会参加申し込みの手続きでその旨を示し、大会参加費を納入しなければなりません。なお、非会員の連名発表者の方で当日参加の方は、ご本人により参加申込を行なってください。また、**非会員の連名発表者で当日不参加の方は、連名発表費(3,000円)を、筆頭発表者によって事前に納入していただくこととなります。**

(4) 論文原稿作成要領

ポスター発表用の論文のフォーマットは、大会ホームページ上からダウンロードできます。各自で用意する際はレイアウト図を参照して、モノクロ原稿を作成してください。原則として、研究の目的、方法、結果、考察などの項目に分けて記述してください。

なお、事例発表には、個人情報保護・プライバシーへの配慮をお願いいたします。

発表1件あたり、発表論文集の見開き2ページを充てます。作成していただく原稿は、A4判、横書き、2段組とし、1ページ目に題目、発表者氏名、所属機関名を記載し、2ページ目は論文のみとしてください（レイアウト図を参照）。なお、実際の論文集の大きさはB5判になります。

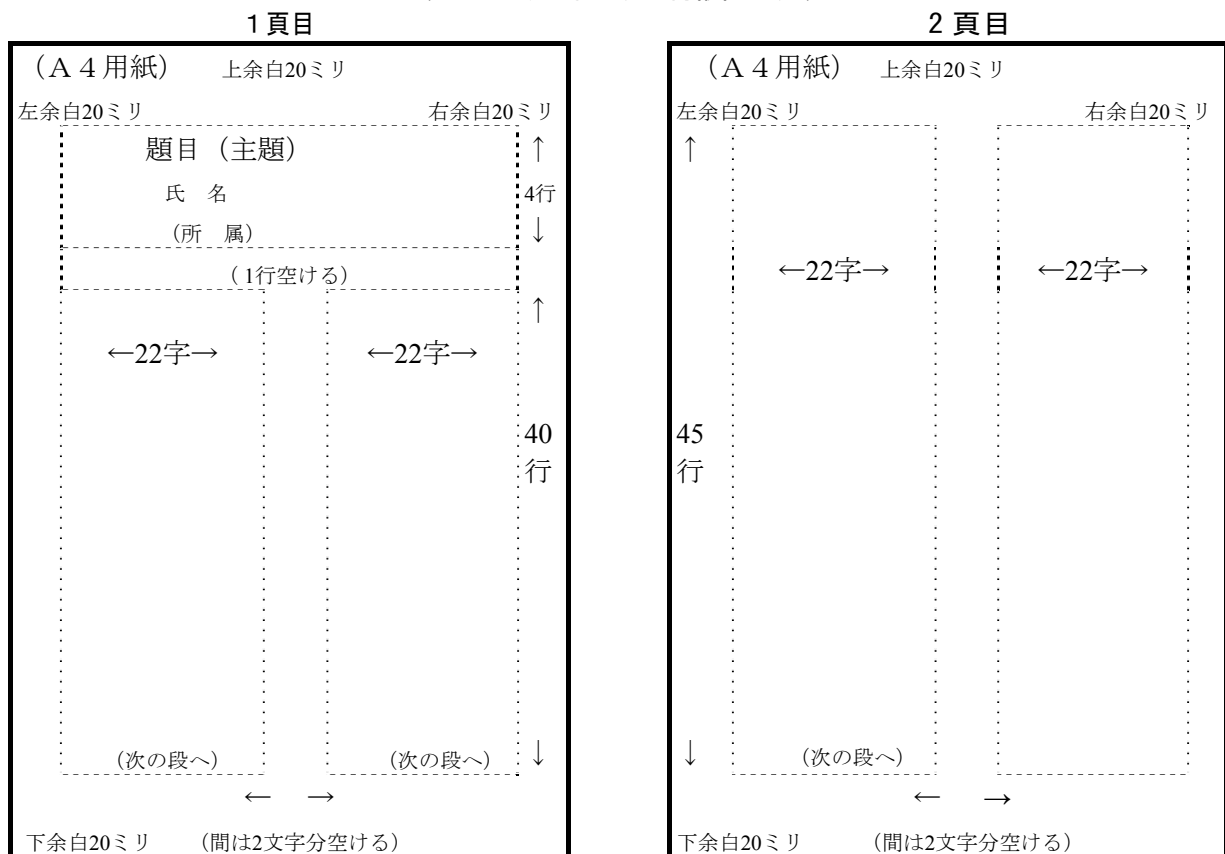
① 題目・氏名・所属・本文の記入方法（レイアウト図参照）

- 「題目」は、4倍角（普通の文字[全角]の2×2字分）程度の大きさで、上から第1行目と第2行目に記述する。
- 「氏名」は、第3行目に記述する。**また、連名の場合には筆頭発表者の氏名の前に○を付ける。**
(連名の場合で名前の前に○がない場合は、最初の方を責任発表者とします。)
- 「所属」は、第4行目に氏名の下にカッコでくくって記述する。
- 「本文」は、「所属」の行から1行空けたところ（第6行目）から書き始める。
- 会員外の連名発表者については、氏名の後に#印を付ける。

② 図と表の記入法

印刷して仕上がったときの縦横の縮小率は、原稿を1とすると約0.9です。図や表の記載量についての制限はありませんが、すべてが印字の枠の中に収まるようにしてください。写真は図として扱います。原稿をアップロードすることを考慮して、容量が大きくなるようにしてください（原稿全体で3MB未満）。郵送で送る場合は、原稿に挿入して仕上がり原稿として下さい。

〔レイアウト図（A4判縦置き）〕



〔注〕 上図に示した行数および1行の文字数は、おおよその目安とお考えください。ただし、指定の行数±3行、指定の文字数±3字の範囲内でお書きください。

(5) 論文原稿送付について

筆頭発表者は、大会ホームページの『論文投稿』より、必要事項を入力の上、原稿をアップロードしてください。郵送の場合は、以下の(a)～(c)の一式を同封の上、大会事務局宛にお送り下さい。お送りいただいた発表論文原稿はお返しいたしません。予めご了承下さい。

- (a) 発表論文集原稿 (A4判) 1通
- (b) 発表論文集原稿のコピー (A4判) 2通 ※プログラム編成用に使用します。
- (c) ポスター発表編成票 (A4判) 1通

※ポスター発表編成票フォーマットは、大会ホームページからもダウンロードできます。

(6) ポスター掲示について

大会当日に使用する掲示用のポスターは、各自ご用意の上ご持参ください。パネルの大きさは縦160 cm×横80 cmとなります。また、1行目に発表題目、2行目に発表者氏名を印字した縦20 cm×横60 cm程度の見出しをご用意ください。

なお、責任在籍時間は、8月20日(日) 15:40～16:40 もしくは 16:40～17:40 で、準備委員会により指定させていただきます。

【お問い合わせ・連絡先】

日本学校心理士会 2017 年度大会 事務局

東京都豊島区南大塚 2-35-7 (株) 平文社内

担当：営業部 西田・伊藤

E-Mail: gakkoushinrishi2017@heibun.co.jp

TEL: 03-3944-0301 FAX: 03-5395-6427 (受付時間: 祝祭日を除く月～金 9:00～17:00)

大会ホームページ: <http://heibun.co.jp/gakkoushinrishi2017/>

※学校心理士資格更新やポイントについては、一般社団法人学校心理士認定運営機構へお問い合わせください。

【TEL】 03-3818-1554 (受付時間: 月～金曜の10:00～17:00)

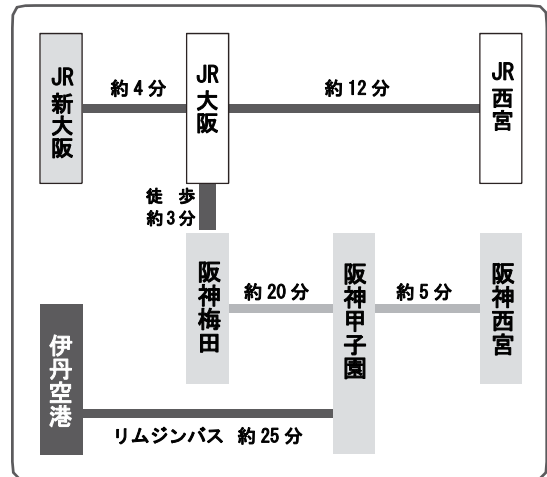
【E-Mail】 office@gakkoushinrishi.jp

【学校心理士認定運営機構ホームページ】 <http://www.gakkoushinrishi.jp/>

6. 会場へのアクセス

- ◎西宮市民会館（西宮市六湛寺町 10-11）
阪神西宮駅「市役所口」改札北から徒歩 1 分
JR 西宮駅から西へ徒歩約 10 分
- ◎西宮市立勤労会館（兵庫県西宮市松原町 2 -37）
阪神西宮駅「市役所口」改札東へ徒歩約 8 分
JR 西宮駅から南へ徒歩約 7 分

●主な交通ルート



◎空港リムジンバス <http://www.okkbus.co.jp/>



◎西宮市立勤労会館への行き方

西宮市民会館南玄関を出て、線路沿いに東へ徒歩約 5 分

情報交換会(懇親会) 8/19(土) 19:30
場所: 六甲山ホテル

〒657-0101 神戸市灘区六甲山町南六甲 1034

TEL: 078-891-0301

www.hankyu-hotel.com/hotel/rokkosan

情報交換会支援協力: 神戸セミナー